

はしがき——これから生きる人に寄り添う社会政策を目指して——

I ライフコースと社会政策

第1章 私たちの生活と社会政策	3
1 生活の構造と人生	3
2 生活していくということ	5
3 社会政策の目的と機能	9
4 社会政策の体系	14
5 社会政策のかたち	17
6 社会政策の実施・担い手	21
7 日本の社会政策を取り巻く変化	23
8 社会政策とともに生きる	24
第2章 子ども期の社会政策	27
——人生のスタートを支える多様な社会へ——	
1 国際比較からみる日本の特徴	27
2 子ども期の社会政策を考える枠組み	29
3 子ども期志向の社会政策	33
4 子ども対象の社会政策	35
5 子ども主体の社会政策	38
6 子どもたちの声なき声を政策へ	42
第3章 進路選択期の社会政策	50
1 18歳と22歳の進路選択	50
2 大卒就職の課題と政策対応	53
3 個々の進路選択と日本社会の「かたち」	58

4	どの進路選択も人生の不利にならない社会政策	65
---	-----------------------	----

第4章 成人期・壮年期の社会政策.....71

1	進路選択期から成年期への移行と働き方モデル	71
2	学校生活から中断のない移行と、雇用を通じた生活保障	75
3	雇用を通じた生活保障の問題点	80
4	現状と変化の兆し	86

第5章 高齢期の社会政策.....93

——高齢者の生活リスクとその支援の課題——

1	高齢期の生活を支える年金・生活保護	93
2	高齢者の就業・社会参加	98
3	高齢期の医療と介護	100
4	高齢者と家族	103
5	最期をどのように迎えるか	105

II ライフイベントと社会政策

第6章 仕事をめぐる社会政策.....113

1	仕事を探す・始める・変える	113
2	仕事とライフイベント	118
3	働けなくなったら	122
4	仕事仲間とコミュニティ	129
5	「会社＝雇用」を前提とした社会政策を乗り越える	133

第7章 結婚と子育て.....137

——家族を守る政策とその限界——

1	結婚する：カップル関係と社会政策	137
2	子どもを産み育てる：子どもをもつことと社会政策	140
3	家族の変化と子育てを支える政策のミスマッチ	144
4	家族を前提とした社会政策を乗り越える	148

第8章 住まい	157
—自助の錯覚を超えて—	
1 住まいは社会政策の対象か	157
2 政策は住まいをどう変えてきたか	161
3 政策は住まいにどうかかわれるか	164
4 なぜ「居住支援」が必要なのか	167
5 住まいのレジーム	170
第9章 保健医療・介護	175
—健康な身体／ままならない身体で生きぬくために—	
1 生活の安心を支える医療の制度とその揺らぎ	175
2 勤労世代における健康問題の多様化と保健医療	178
3 障害を抱えて生きることを支える保健医療福祉	181
4 高齢世代の保健医療	185
5 財政の視点でとらえるケアシステム運営の課題	189
第10章 生活困窮と社会政策	194
1 生活困窮とは、何に困っていることなのか	194
2 生活困窮状態にある人生でどのようなことが起こるか	198
3 生活困窮に対応する主な社会政策	202
4 生活困窮状態から、どのように生活を立て直していくか	206
5 生活困窮と社会政策について、これから何を考えるか	209
あとがき	213
索引	217